

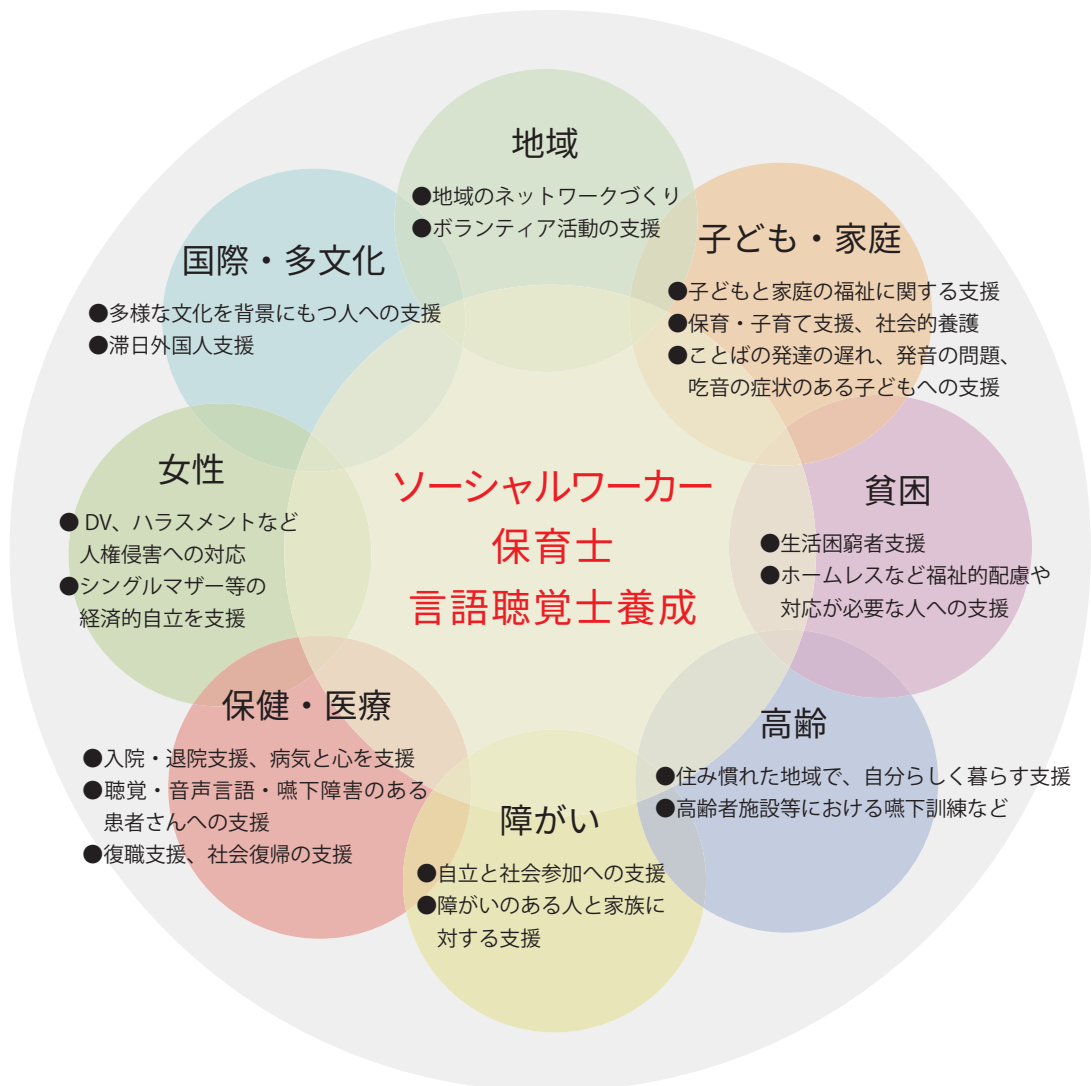
福祉社会学科

キャリアデザイン・ポリシー

福祉・保健・医療の専門的知識・技術、倫理観を基盤に、国内外における社会的課題を解決し、人々の幸福と社会の発展に寄与できる人材を育成します。

1. 社会福祉の専門的知識・技術を修得し、地域社会において多領域で活躍するソーシャルワーカーを養成する。
2. 保育とソーシャルワークの知識と技術を修得し、子育て支援、家族支援のできる保育士を養成する。
3. 医学的知識・技術を修得し、ことばや聞こえ、嚥下などの悩みを抱える人に対して、福祉的視点をもって支援することのできる言語聴覚士を養成する。
4. 国際・多文化社会における福祉課題を解決するための視野、人間性、コミュニケーション力を有し、福祉社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

【福祉社会学科の学びと活躍の場】



福祉社会学科

<社会福祉士：目指す職業と履修モデル>

※ SW:ソーシャルワーカー

保健医療福祉系	高齢者福祉系	障害者福祉系	地域・国際福祉系	福祉行政系 (国家公務員・地方公務員)
<ul style="list-style-type: none"> ● 国公立医療センター (医療 SW) ● 大学病院 (医療 SW) ● 一般病院 (医療 SW) ● 診療所 (医療 SW) ● 介護老人保健施設 (医療 SW) ● 在宅療養支援診療所 (医療 SW) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括支援センター (社会福祉士) ● 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設 (生活相談員) ● 居宅介護サービス事業所 (生活相談員、介護従事者) ● 福祉用具貸与事務所 (福祉用具専門相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者支援施設 (生活支援員) ● 居宅介護事業所 (障害者・児居宅介護従事者、生活相談員) ● 就労移行支援事業所 (就労支援員、生活支援員) ● 指定相談事業所 (相談支援専門員) ● 発達障害者支援センター (生活支援員、生活相談員) ● 就労支援機関 (職業相談員) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉協議会 ● 独立型社会福祉士事務所 ● 福祉系民間企業 ● 特例子会社 ● 生活協同組合 ● 独立行政法人国際協力機構 (JICA) ● 非政府組織 (NGO) ● 特定非営利活動法人 (NPO) ● 教育機関 (スクールSW) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般行政職、家庭裁判所調査官、保護観察官 ● 身体・知的障害者更生相談所 (身体・知的障害者福祉司) ● 児童相談所 (児童福祉司) ● 婦人相談所 (婦人相談員) ● 福祉事務所 (ケースワーカー) ● 県庁・市区役所 (福祉職) ● 子ども・若者総合相談センター (社会福祉士、精神保健福祉士)

大学院

社会福祉士

4 年 次	ソーシャルワーク演習V(専門)		卒業論文 専門演習II A・II B	専門特別実習	一般 教養 科目 ・ 外国 語科 目 ・ 文化 講座
3 年 次	ソーシャルワークの理論と方法III(専門) ソーシャルワークの理論と方法IV(専門) 刑事司法と福祉	ソーシャルワーク演習III(専門) ソーシャルワーク演習IV(専門) ソーシャルワーク実習指導II・III ソーシャルワーク実習	専門演習I A・I B	スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2 年 次	ソーシャルワークの理論と方法I・II 地域福祉と包括的支援体制II 保健医療と福祉 社会保障I・II 社会福祉調査の基礎	貧困に対する支援 福祉サービスの組織と経営 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習I・II(専門) ソーシャルワーク実習指導I	福祉英語II	社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1 年 次	社会福祉の原理と政策I・II ソーシャルワークの基礎と専門職I・II(専門) 地域福祉と包括的支援体制I 高齢者福祉 障害者福祉	児童・家庭福祉 医学概論 心理学と心理的支援 社会学と社会システム	ソーシャルワークプロジェクトI・II 福祉英語I 基礎演習	女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論	
	社会福祉士科目		学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

＜社会福祉士・精神保健福祉士：目指す職業と履修モデル＞

※ SW:ソーシャルワーカー



※ 4年間の履修によって社会福祉士・精神保健福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

福祉社会学科

<社会福祉士・保育士：目指す職業と履修モデル>

※ SW:ソーシャルワーカー

児童福祉系	福祉行政系 (地方公務員)	女性福祉系
<ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所（保育士） ●病児・病棟保育（保育士） ●児童厚生施設（児童厚生員、保育士） ●乳児院（児童指導員、保育士、家庭支援専門相談員） ●児童養護施設（家庭支援専門相談員、児童指導員、保育士） ●福祉型・医療型児童発達支援センター（児童相談員・保育士） ●福祉型・医療型障害児入所施設（児童指導員、保育士） ●自立援助ホーム（児童指導員） ●児童自立支援施設（児童生活支援員） ●教育機関（スクールSW） 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童相談所（児童福祉司） ●一時保護所（児童指導員、保育士） ●児童家庭支援センター（家庭支援専門員） ●公立保育所（保育士） ●福祉事務所（母子自立支援員） ●公務員（男女共同参画課） 	<ul style="list-style-type: none"> ●母子生活支援施設（母子支援員、少年指導員、保育士） ●婦人保護施設（生活指導員） ●民間シェルター（ケースワーカー） ●男女共同参画センター ●外国人女性への支援機関（相談員）

↑
大学院
↑

社会福祉士・保育士

4 年 次	3 年 次	2 年 次	1 年 次	卒業論文 専門演習ⅡA・ⅡB	専門特別実習	一般教養科目・外国語科目・文化講座	
ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門) 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門) ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(専門) 刑事司法と福祉 ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門) ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門) ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク実習	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 保健医療と福祉 社会保障Ⅰ・Ⅱ 社会福祉調査の基礎 貧困に対する支援 福祉サービスの組織と経営 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ(専門) ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの基礎と専門Ⅰ・Ⅱ(専門) 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 高齢者福祉 障害者福祉 児童・家庭福祉 医学概論 心理学と心理的支援 社会学と社会システム	専門演習ⅠA・ⅠB 福祉英語Ⅱ ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ 福祉英語Ⅰ 基礎演習	スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論 社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉 女性に対する支援と福祉施策 情報機器の操作とデータ分析 国際福祉論		
社会福祉士・保育士科目				学科必修科目	学科独自科目		

※ 4年間の履修によって社会福祉士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが望ましい。

※ 4年間の履修によって保育士資格を取得できる。

福祉社会学科

<言語聴覚士：目指す職業と履修モデル>

※ ST：言語聴覚士

小児保健医療系	小児福祉・教育系	成人保健医療	成人福祉系	関連企業
<ul style="list-style-type: none"> ●小児医療センター（小児担当 ST） ●小児療育センター（小児担当 ST） 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害児福祉センター（小児担当 ST） ●小児発達支援センター（小児担当 ST） ●難聴児通園施設（難聴児担当 ST） ●特別支援学校（聴覚障害担当 ST/肢体不自由担当 ST/知的障害担当 ST） 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学病院（リハビリテーション科 ST/脳神経外科 ST/耳鼻咽喉科 ST/形成外科 ST など） ●一般病院（リハビリテーション科 ST など） ●診療所（耳鼻咽喉科 ST/音声障害 ST など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●身体障害者福祉センター（言語/聴覚/嚥下障害担当 ST） ●高齢者福祉施設（言語/聴覚/嚥下障害担当 ST） 	<ul style="list-style-type: none"> ●補聴器メーカー（ST） ●人工内耳メーカー（ST）

言語聴覚士

4 年 次	社会福祉・教育 言語聴覚障害学総合演習Ⅰ・Ⅱ 臨床実習	卒業論文 専門演習Ⅱ A・Ⅱ B	専門特別実習	一般教養科目・外国語科目・文化講座
3 年 次	臨床心理学 失語症学Ⅱ 失語・高次脳機能障害学検査法演習Ⅱ 言語発達障害学Ⅱ 発声発語障害学Ⅱ・Ⅲ	摂食嚥下障害学 発声発語障害学評価法演習Ⅱ 臨床実習	専門演習Ⅰ A・Ⅰ B スクールソーシャルワーク論 雇用・労働と社会政策 多文化ソーシャルワーク論	
2 年 次	臨床歯科学・口腔外科学 音声・言語・聴覚医学Ⅰ・Ⅱ 生涯発達心理学 学習・認知心理学 音響学・聴覚心理学 言語聴覚障害診断学 失語症学Ⅰ 高次脳機能障害学	失語・高次脳機能障害学検査法演習Ⅰ 言語発達障害学Ⅰ 言語発達障害学検査法演習Ⅰ・Ⅱ 発声発語障害学Ⅰ 発声発語障害学評価法演習Ⅰ 聴覚障害学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 聴覚検査法演習	福祉英語Ⅱ 社会調査の基礎 生活福祉経営論 ライフサイクルと疾病 コミュニティ・ビジネス論 グローバル社会と福祉	
1 年 次	医学総論・リハビリテーション医学 解剖学 生理学 病理学 臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 心理測定法	言語学 音声学 言語発達学 言語聴覚障害学総論 聴覚障害学Ⅰ	ソーシャルワークプロジェクトⅠ・Ⅱ 福祉英語Ⅰ 基礎演習	
	言語聴覚士科目	学科必修科目	学科独自科目	

※ 4年間の履修によって言語聴覚士の受験資格を取得できる。国家試験を受験し、上記資格を取得することが求められる。